

□主な内容

【ムーバス運行 30 周年記念シンポジウムを開催します！】

11 月 26 日(水)に武蔵野市において、「ムーバス運行30周年を契機に考える、これからのムーバスのあり方について」の再構築をテーマとして、ムーバス運行 30 周年記念シンポジウム(第 30 回地域バス交通活性化セミナー)を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/30th_seminar.html

【第 31 回地域バス交通活性化セミナー(札幌)を開催します！】

12 月 8 日(月)に札幌市において、「路線バス等の維持を目指した多様な分野からの運転者確保」をテーマとして、第 31 回地域バス交通活性化セミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/31th_seminar.html

□目次

1. ニュース／トピックス

- 令和7年度グリーンスローモビリティ導入促進事業の二次公募について【環境省、地域循環共生社会連携協会】
- 岡山市内を運行する交通事業者による共同経営がスタートします ～路線バスと路面電車で均一運賃により分かりやすい運賃体系を実現～【国土交通省】
- 遠紋地域にて重複区間を運行するバス事業者の共同経営がスタートします ～各区域での運行の一元化による最適なサービスの提供～【国土交通省】
- バス会社による日本版ライドシェアのトライアル運行の開始について【国土交通省、豊岡市】
- 日本版ライドシェア富良野で始動！ ～観光シーズンの需要増をライドシェアで補完！～【北海道運輸局】
- 「バス無料デー」の実施について【宮崎県】
- 八幡平地区の公共交通が新しくなります【鹿角市】
- 沖縄市ヨルバス運行(KOZA によって行コッサ！)【沖縄市】
- 自動運転バスの実証実験を実施します！【さいたま市】
- 自動運転バスに乗ろう！ ～むつ市自動運転実証運行～【むつ市】
- いいやま相乗りタクシーの実証実験を行います！【飯山市】
- 「日本版ライドシェア」の実証事業【伊勢市】

- 持続可能なまちづくりの実現に向けて佐呂間町公共ライドシェア『ももちゃんタクシー』の実証運行開始！【ワークフェア、エムリンクHD、佐呂間ハイヤー、佐呂間町】
- デマンドタクシー(交通空白地解消に向けた実証実験)【大和郡山市】
- SAVS を活用した新たな地域公共交通「ひまわる」の実証実験を開始します【北竜町】
- 稲城市でAIオンデマンド交通“mobi”の実証運行開始 ～誰もが自由かつ気軽に出かけられる地域交通で、ワクワクする毎日の暮らしへ～【稲城市、Community Mobility】
- AI オンデマンド交通「mobi モビ」の実証運行を実施します【尼崎市】
- 多度津町でAIオンデマンド交通“たどつmobi”をサービス開始【多度津町、多度津タクシー、Community Mobility】
- AI オンデマンド交通「イコテ」について【小千谷市】
- AI デマンド実証運行「まちなか交通のらっしゃい」【尾花沢市】
- デマンドタクシー実証実験【練馬区、SWAT Mobility Japan】
- 日高町のデマンドバス「すこバス」の本格運行開始とエリア拡大の実証運行開始【駅探、日高町】
- 厚木市シェアサイクルの実証実験始めました！【厚木市、OpenStreet、江ノ島電鉄】
- 東峰村シェアサイクル導入実証事業 2025 を実施します！【東峰村】
- 共創プロジェクト「公共交通のスマート化」～電動キックボードのシェアリング実証実験～【日立市、日立製作所】
- 公用車(EV)の休日カーシェア(実証実験)を実施します【芳賀町】
- 伊予鉄バス、神姫バス、東急バス等と協力し、国内初となる EV 重量車の J-クレジット認証を取得。モビリティカーボンクレジットグループ(MCCG)を組成し、脱炭素を加速【Spatial Pleasure】
- RYDE の「エコのるプロジェクト」、新たに熊本市へ取組みが拡大！【RYDE】
- 千葉駅を起点とするモビリティハブ「千葉ぷらっと」の実証実験 ～移動と生活サービスが融合した新たな都市機能の可能性を検証～【JR 東日本、AMANE、ジオテクノロジーズ】
- 日本最長・最速のロボタク運行実証実験を上士幌町で開始【ムービーズ】
- 2025年度の横浜市における自動運転モビリティサービスの実証実験の詳細を発表【BOLDLY、プレミア・エイド、京急電鉄、日産自動車】
- 和歌山市で観光客向けにオンデマンド交通運行システムを提供【SWAT Mobility Japan、ユタカ交通】
- カーボンニュートラル燃料を活用したオンデマンドバスの実証運行を実施します【東北大学、WILLER】
- 宮ノ陣・小森野エリア、水天宮へ利用可能エリアを拡大しました！【チャリチャリ】
- 新千歳空港駐車場の料金改定およびサービス拡充について【北海道エアポート】
- 流山市でTOCKLEに電動アシスト自転車シェアリングサービス「NAGAREYAMA GREEN RIDE」が仲間入り【BRJ】

- 読売新聞川越工場への新聞巻取紙モーダルシフトによる直納運用を開始【読売新聞東京本社、日本貨物鉄道、南光運輸】
- 新幹線を活用した手荷物の当日配送サービスが開始 ～増加する九州地域の観光客の快適性や利便性向上を目指す～【JR 九州、ヤマト運輸】
- 共同輸送マッチングサービス「TranOpt」に新機能を追加コンサルティング、サポートメニューとあわせて共同輸送の導入に伴走【JPR】

2. イベント情報

- JapanMobilityShow2025【2025/10/30～11/9】
- 鉄道整備士キッズ、集まれ！ ～踊り子号のヒミツに潜入せよ～【2025/11/8、11/9】
- 都営フェスタ 2025in 三田線【2025/11/15】
- 陸・海・空の多様な輸送モードを活用したモーダルシフトによる物流効率化セミナー【2025/11/19】
- マリフェス 2025【2025/11/22】
- すわ湖鉄道フェスタ 2025【2025/11/23】
- 乗ろうよ！フェア&バスフェスタ 2025 ～次の未来で停車します～【2025/11/24】
- ムーバス運行 30 周年記念シンポジウム(第 30 回地域バス交通活性化セミナー)「ムーバス運行 30 周年を契機に考える、これからのムーバスのあり方について」【2025/11/26】
- まちと交通の未来づくりフォーラム 第 5 回フォーラム「自分たちでつくる、住み続けたいまち」【2025/11/30】
- 第 31 回地域バス交通活性化セミナー「路線バス等の維持を目指した多様な分野からの運転者確保」【2025/12/8】
- 地域循環共生圏セミナー2025 第 3 回交通×環境 地域交通課題から始まる住民主体の地域づくり【2026/1/14】

3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

1. ニュース／トピックス

●令和7年度グリーンスローモビリティ導入促進事業の二次公募について【環境省、地域循環共生社会連携協会】

環境省は、令和7年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業）のうち、グリーンスローモビリティ導入促進事業の二次公募を開始しました。公募期間は、11月14日までです。

本事業は、地域課題の解決と交通の脱炭素化の同時実現を目指したグリーンスローモビリティの導入に係る車両等の導入支援を行うものです。

https://www.env.go.jp/press/press_01393.html

●岡山市内を運行する交通事業者による共同経営がスタートします ～路線バスと路面電車で均一運賃により分かりやすい運賃体系を実現～【国土交通省】

国土交通省は、岡山電気軌道株式会社、両備HD株式会社、中鉄バス株式会社、下津井電鉄株式会社、備北バス株式会社から申請のあった「岡山市地域公共交通共同経営計画」に基づく共同経営について、独占禁止法特例法に基づく認可を行いました。本共同経営は、岡山市内において、計画区域内を運行する路線バスおよび路面電車の運賃を同額にするものです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000473.html

●遠紋地域にて重複区間を運行するバス事業者の共同経営がスタートします ～各区域での運行の一元化による最適なサービスの提供～【国土交通省】

国土交通省は、北海道北見バス株式会社および北紋バス株式会社から申請のあった「遠紋地域乗合バス事業共同経営計画」に基づく共同経営について、独占禁止法特例法に基づく認可を行いました。本共同経営は、北海道遠軽町から湧別町及び紋別市方面（遠紋地域）において、事業者が重複して運行している区間を含む運行事業者の一元化により、収支改善を図るものです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000476.html

●バス会社による日本版ライドシェアのトライアル運行の開始について【国土交通省、豊岡市】

豊岡市は、竹野地域において、バス会社による日本版ライドシェアのトライアル運行を開始しました。

本取り組みは、バス事業者である全但バスが日本版ライドシェアの実施主体となり、地域の移動需要に合った様々な交通サービスを提供し、新たな公共交通体系の構築を目指す取り組みです。国土交通省では、バス・鉄道事業者による日本版ライドシェアへの参画の検討を行ってきており、今回が全国初のバス会社による日本版ライドシェアになります。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000482.html

●日本版ライドシェア 富良野で始動！ ～観光シーズンの需要増をライドシェアで補完！～
【北海道運輸局】

北海道運輸局は、富良野市からの申出に基づき、「富良野圏」において、株式会社富良野タクシー及び有限会社中央ハイヤーに対し、日本版ライドシェアの許可を行いました。

本取組みは富良野市における夏と冬の観光シーズンにインバウンド客の増加に伴うタクシー需要の増大に対し、日本版ライドシェアを活用した地域のタクシーの補完を図るものです。

https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/20250929_00001.html

●「バス無料デー」の実施について【宮崎県】

宮崎県は、バス利用のきっかけづくりを目的として、宮崎県内で運行する路線バス会社 5 社等を対象に運賃が無料となる「バス無料デー」を実施します。実施日は計 4 日間で 11 月以降は 12 月 17 日と 12 月 21 日です。

対象日に宮崎県内のバス停で降車する場合、運賃が無料となり、県内在住者に限らずすべての人が何度でも利用可能です。

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogokotsu/kurashi/kotsu/20250826145653.html>

●八幡平地区の公共交通が新しくなります【鹿角市】

鹿角市は、人口減少が進む中で八幡平地区の公共交通を持続可能なものにしていくため、新たな交通システムを開始します。新交通システムは、現行のバス路線の一部を廃止し、新たに利用者ニーズに応じた路線バスとデマンド型乗合タクシーを組み合わせるものです。

<https://www.city.kazuno.lg.jp/soshiki/shiminkyodo/kankyoseikatsu/gyomu/2/3/13627.html>

●沖縄市ヨルバス運行(KOZA によって行コッサ！)【沖縄市】

沖縄市は、胡屋・中央地区を「仮想バスタ」と想定し、胡屋バス停から都市間を結ぶ夜間運行バス「ヨルバス」を運行することにより、まちのにぎわいに繋げていくことを目指して社会実験を行います。運行期間は 11 月 1 日から 2026 年 1 月 31 日までです。

<https://www.city.okinawa.okinawa.jp/k036-001/contents/p00021.html>

●自動運転バスの実証実験を実施します！【さいたま市】

さいたま市は、一般国道 463 号において、大型バスによる自動運転実証実験の一般試乗を実施します。一般試乗の実証期間は 11 月 4 日から 11 月 13 日までです。

本実証実験では、自動運転レベル 2 で運行します。市内でも特にバス本数が多い路線で、大型バスによる自動運転レベル 4 実装に向けて、「経営面」、「技術面」、「社会受容性面」の課題を抽出します。

<https://www.city.saitama.lg.jp/006/014/008/003/014/007/p124386.html>

●自動運転バスに乘ろう！ ～むつ市自動運転実証運行～【むつ市】

むつ市は、市内交通事業者の運転手不足や高齢化により、公共交通の維持・確保が難しくなっている状況を解消するため、将来的な自動運転の本格導入を見据え、自動運転バスの実証運行事業を開始しました。実証期間は 10 月 31 日までです。

https://www.city.mutsu.lg.jp/kurashi/koutsu/koutsu_sisaku/r7mutsushi-jidounten.html

●いいやま相乗りタクシーの実証実験を行います！【飯山市】

飯山市は、市内の公共交通の利便性を高めるため、新しい公共交通「いいやま相乗りタクシー」の実証実験を開始しました。実証期間は 2026 年 1 月 31 日までです。

https://www.city.iiyama.nagano.jp/soshiki/kikakuzaisei/54359/public_traffic/ainoritaxi

●「日本版ライドシェア」の実証事業【伊勢市】

伊勢市は、2024 年度に実施した「日本版ライドシェア」実証事業の結果を受け、ライドシェアの実証運行を行っています。実証期間は 2026 年 1 月 31 日までです。

<https://www.city.ise.mie.jp/kurashi/koutsu/notice/1018102.html>

●持続可能なまちづくりの実現に向けて佐呂間町公共ライドシェア『ももちゃんタクシー』の実証運行開始！【ワークフェア、エムリンクHD、佐呂間ハイヤー、佐呂間町】

NPO 法人ワークフェア、株式会社エムリンク HD、株式会社佐呂間ハイヤーは、『令和 7 年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(国土交通省)』の採択を受け、佐呂間町で「ももちゃんタクシー(公共ライドシェア)」の実証運行を開始しました。実証期間は 2026 年 1 月 31 日までです。

https://www.willer.co.jp/news/press/2025/1010_6568

●デマンドタクシー(交通空白地解消に向けた実証実験)【大和郡山市】

大和郡山市は、市内 2 箇所の交通空白地域に対し公共交通を提供・確保するため、会員制の予約型乗り合いタクシーの実証運行を開始しました。実証期間は 2026 年 3 月 31 日までです。

<https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/soshiki/koutu/8/16164.html>

●SAVS を活用した新たな地域公共交通「ひまわる」の実証実験を開始します【北竜町】

北竜町は、早朝の近隣自治体の JR 駅へ接続する定時定路線運行と、日中・夜の SAVS を使ったデマンド交通を組み合わせた新たな地域公共交通「ひまわる」の実証実験を開始しました。実証期間は 2026 年 3 月 31 日までです。

<https://www.miraishare.co.jp/202509hokuryu/>

●稲城市でAIオンデマンド交通“mobi”の実証運行開始 ～誰もが自由かつ気軽に出かけられる地域交通で、ワクワクする毎日の暮らしへ～【稲城市、Community Mobility】

稲城市と Community Mobility 株式会社は、稲城市の一部地域において、AI オンデマンド交通『mobi』の実証運行を開始しました。実証期間は 2026 年 1 月 30 日までです。

本サービスのポイントは、以下 2 点です。

①WEB アプリや電話で簡単に呼ぶことができ、AI ルーティングにより、お客様の予約状況や道路状況を考慮して、最適なルートで相乗りしながら目的地まで効率よく移動できます。

②駅や病院、公園や体育館など住民や来訪者が利用しやすい地点 31 カ所を乗降場所に設定しています。

https://www.willer.co.jp/news/press/2025/1001_6552

●AI オンデマンド交通「mobi モビ」の実証運行を実施します【尼崎市】

尼崎市は、人口減少や高齢化の進展などの人口動態の変化や運転士不足等の社会情勢の変化等が見込まれる中でも、暮らしやすさと働きやすさが調和し、人が“つどう”まちの実現に向け、AI・ICT 技術を活用した効率的な交通サービスの 1 つである「AI オンデマンド交通」の園田地域における実証運行を行います。実証期間は 11 月 1 日から 12 月 26 日です。

https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/si_kangae/si_keikaku/1037079/1037297/1040003/1042021.html

●多度津町でAIオンデマンド交通“たどつmobi”をサービス開始【多度津町、多度津タクシー、Community Mobility】

多度津町と有限会社多度津タクシー、Community Mobility 株式会社は、多度津町において、AI オンデマンド交通『たどつ mobi』を提供開始しました。

本サービスのポイントは、以下 2 点です。

①アプリや電話で簡単に呼ぶことができ、AI ルーティングにより、お客様の予約状況や道路状況を考慮して、最適なルートで相乗りしながら目的地まで効率よく移動できます。

②乗降場所は約 310 カ所あり、自分たちが使いやすいよう、乗降場所の追加・変更リクエストが可能です。

https://www.willer.co.jp/news/press/2025/0930_6549

●AI オンデマンド交通「イコテ」について【小千谷市】

小千谷市は、市街地を運行区域として、区域内にきめ細かく設定する乗降ポイント間を乗り継ぎなしで移動できる、AI を活用した新しい予約型乗合交通「イコテ」の運行を開始しました。

<https://www.city.ojiya.niigata.jp/soshiki/nigiwai/ikote.html>

●AI デマンド実証運行「まちなか交通のらっしゅい」【尾花沢市】

尾花沢市は、住民の移動ニーズを踏まえた利便性の向上を図るため、「市街地周辺」「徳良湖周辺」のエリアにおいて AI デマンドの実証運行を開始しました。実証期間は 2026 年 9 月 30 日です。

<https://www.city.obanazawa.yamagata.jp/kurashi/kotsu/rosen-bus-service/3849>

●デマンドタクシー実証実験【練馬区、SWAT Mobility Japan】

練馬区は、区の特性にあった新たな交通手段の実効性を検証するため、2024 年度に続き、デマンドタクシーの実証実験を開始しました。実証期間は 2027 年 3 月 31 日までです。

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kurashi/sumai/0662192920240925.html>

●日高町のデマンドバス「すこバス」の本格運行開始とエリア拡大の実証運行開始【日高町駅探】

株式会社駅探は、令和 7 年度日高町共創モデル実証運行事業として、日高町における MaaS「すこバス」の本格運行（富川・門別本町方面）と実証運行（日高地区方面、広富・豊郷・清島方面）を開始しました。実証期間は 12 月 30 日までです。

<https://ekitan.co.jp/corp/news/02051001-1/>

●厚木市シェアサイクルの実証実験始めました！【厚木市、OpenStreet、江ノ島電鉄】

厚木市は、新たな都市交通システムとしての有効性と課題を検証するため、アプリケーションを提供する OpenStreet 及び江ノ島電鉄と協定を締結し、市役所や公民館、公園などに専用ステーションを新設する実証実験を開始しました。実証期間は 2028 年 9 月 30 日までです。

<https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/soshiki/toshikeikakuka/6/49709.html>

●東峰村シェアサイクル導入実証事業 2025 を実施します！【東峰村】

東峰村は、BRT 駅から観光地までのアクセス手段の向上と地域の周遊促進を図る実証実験の一環として、シェアサイクル「RinRin オリヒメ」を試験的に導入、設置しました。実証期間は 12 月 25 日までです。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/tohosharecycle2025.html>

●共創プロジェクト「公共交通のスマート化」～電動キックボードのシェアリング実証実験～【日立市、日立製作所】

日立市と日立製作所は、通勤者向け次世代モビリティの導入を目指し、日立駅から常陸多賀駅の周辺において、電動キックボードのシェアリング実証実験を開始しました。実証期間は 12 月 25 日までです。

https://www.city.hitachi.lg.jp/machizukuri_kankyo/kotsu_doro/1017482.html

● 公用車 (EV) の休日カーシェア (実証実験) を開始しました【芳賀町】

芳賀町は、EV2 台を導入し、平日は公用車として使用するとともに、使用しない休日については町民等に広く活用してもらうカーシェアに供する「公用車の休日カーシェア」を開始しました。実証期間は 2026 年 3 月 31 日です。

<https://www.town.tochigi-haga.lg.jp/chouseijouhou/karsyea.html>

● 伊予鉄バス、神姫バス、東急バス等と協力し、国内初となる EV 重量車の J-クレジット認証を取得。モビリティカーボンクレジットグループ (MCCG) を組成し、脱炭素を加速【Spatial Pleasure】

株式会社 Spatial Pleasure は、伊予鉄バス株式会社、神姫バス株式会社、東急バス株式会社との協力により、EV バスの運行による CO₂ 排出削減効果について、一般財団法人日本海事協会 (ClassNK) の検証を経て、国内初となる EV 重量車の J-クレジット認証を完了しました。この成果を足がかりに、Spatial Pleasure はモビリティ・カーボンクレジット・グループ (MCCG) を設立し、交通・物流業界の脱炭素化を後押ししていきます。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000030.000047935.html>

● RYDE の「エコのるプロジェクト」、新たに熊本市へ取組みが拡大！【RYDE】

RYDE 株式会社は、公共交通機関の利用を促進し、環境負荷の低減を目指す取組み「エコのるプロジェクト」において、熊本市の路線バスでの実施を決定しました。実施内容は RYDEPASS の「まちなかフリーパス」が 1 回 200 円引きになるクーポンコードを先着 200 名限定配布しており、利用期間は 11 月 13 日までです。

また 10 月 19 日に開催された多摩川清掃工場環境フェア 2025 限定で、大田区たまちゃんバス (東急バス) デジタル券」を購入する際に利用できる 80 円引きクーポンを先着 800 名限定で配布しました。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000095.000074063.html>

● 千葉駅を起点とするモビリティハブ「千葉ぷらっと」の実証実験 ～移動と生活サービスが融合した新たな都市機能の可能性を検証～【JR 東日本、AMANE、ジオテクノロジーズ】

東日本旅客鉄道株式会社、株式会社 AMANE、ジオテクノロジーズ株式会社は、JR 東日本主催「WaaS 共創コンソーシアム」の実証実験として、千葉駅と周辺エリアにてモビリティハブの設置を開始しました。実証期間は 2026 年 1 月 30 日までです。

モビリティハブではシェアサイクルや特定小型原動機付自転車、カーシェアリングなどの「移動サービス」と飲食や物販などの「生活サービス」を提供しています。

https://www.jreast.co.jp/press/2025/20250910_ho03.pdf

●日本最長・最速のロボタク運行実証実験を上士幌町で開始【ムービーズ】

株式会社ムービーズは、上士幌町にて、地元住民の方を対象としたロボットタクシーの運行実証を開始しました。市街地から約 5km～20km 離れた山間部・農村道と市街地を結ぶ運行ルートの一部に一般の乗客が乗車できます。

<https://moveez-inc.com/2025/10/page348/>

●2025年度の横浜市における自動運転モビリティサービスの実証実験の詳細を発表【BOLDLY、プレミア・エイド、京急電鉄、日産自動車】

BOLDLY 株式会社、株式会社プレミア・エイド、京浜急行電鉄株式会社、日産自動車株式会社は、横浜市で 2025 年度に実施する自動運転モビリティサービスの実証実験の詳細を発表し、あわせて一般モニターの募集も開始しました。実証期間は 11 月 27 日から 2026 年 1 月 30 日、モニター募集期間は 10 月 31 日までです。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/251003-01-j>

●和歌山市で観光客向けにオンデマンド交通運行システムを提供【SWAT Mobility Japan、ユタカ交通】

SWAT Mobility Japan 株式会社は、ユタカ交通株式会社が和歌山市内で開始した「和歌山城下町観光あいのりタクシー」に、オンデマンド運行システムの提供を開始しました。サービス期間は 11 月 30 日までです。

<https://www.swatmobility.com/jp/news/on-demand-transportation-wakayama-city-2025>

●カーボンニュートラル燃料を活用したオンデマンドバスの実証運行を実施します【東北大学、WILLER】

東北大学並びに WILLER 株式会社は、仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会が実施する自動運転実証事業「青葉山グリーン回遊プロジェクト」と連携し、現在東北大学キャンパスで行っているカーボンニュートラル燃料を使用したオンデマンドバスの実証運行を、学外に拡大する実証実験を行います。実証期間は 11 月 8 日から 11 月 16 日までです。

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2025/10/press20251014-01-bus.html>

●宮ノ陣・小森野エリア、水天宮へ利用可能エリアを拡大しました！【チャリチャリ】

チャリチャリ株式会社は、シェアサイクルサービス「チャリチャリ」の利用可能エリアを宮ノ陣・小森野エリアへ拡大しました。今回の拡大では、14 箇所に駐輪ポートを新設し、エリア面積は 14.4 km²から 19.8km²へ広がりました。

<https://charichari.bike/en/blog/krm-system-news-20250926>

●新千歳空港駐車場の料金改定およびサービス拡充について【北海道エアポート】

北海道エアポート株式会社は、新千歳空港の駐車場利用者の増加による旅客の利便性へ悪影響が及んでいる状況を解決するため、公共交通機関のご利用や送迎による短時間利用へのシフトを促すことを目指した駐車料金に改定と割引サービスの拡充を行いました。

https://www.hokkaido-airports.com/ja/corporate/pressrelease/assets/docs/250909_Releas_HAP.pdf

●流山市でTOCKLEに電動アシスト自転車シェアリングサービス「NAGAREYAMA GREEN RIDE」が仲間入り【BRJ】

BRJ 株式会社は、流山市で展開中の電動キックボードシェアリングサービス「TOCKLE」において、電動アシスト自転車のシェアリングサービス「NAGAREYAMA GREEN RIDE」を本格導入しました。

「NAGAREYAMA GREEN RIDE」は TOCKLE サービス内で提供するシェアサイクルのサブブランドで、既存の TOCKLE アプリからそのままご利用いただけます。キックボードと自転車をシーンに応じて使い分けることで、観光客や地域住民の移動をより便利で快適にし、地域資源の活用を推進します。

https://www.brj.jp/posts/FBiXV3_A

●読売新聞川越工場への新聞巻取紙モーダルシフトによる直納運用を開始【読売新聞東京本社、日本貨物鉄道、南光運輸】

株式会社読売新聞東京本社、日本貨物鉄道株式会社は、南光運輸株式会社も含めた 4 社で、日本製紙岩沼工場から読売新聞川越工場に納入する新聞巻取紙輸送のモーダルシフトによる直納を開始しました。

本取組みは、製紙工場から新聞印刷工場までの輸送を、倉庫を経由せずに直接納入する貨物鉄道中心のモーダルシフトに切り替えることで、CO₂ 排出量の削減とドライバーの運転時間の減少を短縮に貢献するものです。

<https://info.yomiuri.co.jp/pressrelease/%E3%83%A2%E3%83%BC%E3%83%80%E3%83%AB%E3%82%B7%E3%83%95%E3%83%88%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9.pdf>

●新幹線を活用した手荷物の当日配送サービスが開始 ～増加する九州地域の観光客の快適性や利便性向上を目指す～【JR 九州、ヤマト運輸】

九州旅客鉄道株式会社とヤマト運輸株式会社は、福岡空港国際線ターミナルでお預かりした手荷物を、熊本県と鹿児島県の宿泊施設へ当日中にお届けするサービスを開始しました。

https://www.jrkyushu.co.jp/news/_icsFiles/afieldfile/2025/10/01/20251001_JRkyushu_and_Yamato_Transport_launch_samday_baggage_delivery_service_using_the_Shinkansen.pdf

● 共同輸送マッチングサービス「TranOpt」に新機能を追加コンサルティング、サポートメニューとあわせて共同輸送の導入に伴走【JPR】

日本パレットレンタル株式会社は、共同輸送マッチングサービス「TranOpt」をバージョンアップしました。サービスの核となるマッチングシステムに、自社ルート情報を他の利用者に開示せずにマッチング候補を調査できる新機能を追加したほか、昨今普及が進む中継輸送を前提にしたルート設定や、共同輸送を検討する企業に対して運送会社が直接見積を提案する機能が加わりました。事前準備段階のデータクリーニングや、実運行に向けた当事者間のコミュニケーションの支援など、付帯するコンサルティング、サポートメニューを体系化しました。

https://www.jpr.co.jp/news/user_assets/202501001_Release_01.pdf

2. イベント情報

●Japan Mobility Show 2025

日時:2025 年 10 月 30 日(木)～11 月 9 日(日)

場所:東京ビッグサイト

主催:(一社)日本自動車工業会(JAMA)

<https://www.japan-mobility-show.com/>

●鉄道整備士キッズ、集まれ！ ～踊り子号のヒミツに潜入せよ～

日時:2025 年 11 月 8 日(土)、9 日(日)

第 1 回 9:30～12:10 第 2 回 13:30～16:10※各日共通

場所:JR 東日本大宮総合車両センター東大宮センター

主催:JR 東日本大宮支社

https://www.jreast.co.jp/press/2025/omiya/20251016_o01.pdf

●都営フェスタ 2025 in 三田線

日時:2025 年 11 月 15 日(土)10:00～14:30(最終入場 14:00)※雨天決行・荒天中止

場所:東京都交通局志村車両検修場

主催:東京都交通局

https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/pickup_information/news/subway/2025/sub_p_2025101712248_h.html

●陸・海・空の多様な輸送モードを活用したモーダルシフトによる物流効率化セミナー

日時:2025 年 11 月 19 日(水)13:30～15:30

場所:オリエンタルホテル福岡博多ステーション 3 階「YAMAKASA」

主催:国土交通省九州運輸局、(公財)九州運輸振興センター、九州トラック協会

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000359866.pdf>

●マリフェス 2025

日時:2025 年 11 月 22 日(土)10:00～15:00(最終入場 14:00)

場所:幕張車両センター

主催:JR 東日本千葉支社

https://www.jreast.co.jp/press/2025/chiba/20251020_c01.pdf

●すわ湖鉄道フェスタ 2025

日時:2025 年 11 月 23 日(日・祝)10:00～15:00

場所:茅野駅、上諏訪駅、下諏訪駅、岡谷駅

主催: JR 東日本長野支社

https://www.jreast.co.jp/press/2025/nagano/20251014_na01.pdf

●乗ろうよ！フェア&バスフェスタ 2025 ～次の未来で停車します～

日時: 2025 年 11 月 24 日(月・祝) 10:00～15:00 ※雨天決行

場所: マロニエプラザ

主催: 宇都宮市、関東自動車(株)

<https://www.kantobus.co.jp/topics/topics.php?id=1347>

●ムーバス運行 30 周年記念シンポジウム(第 30 回地域バス交通活性化セミナー)「ムーバス運行 30 周年を契機に考える、これからのムーバスのあり方について」

日時: 2025 年 11 月 26 日(水) 18:30～20:30

場所: 武蔵野公会堂

主催: 武蔵野市、エコモ財団

https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/30th_seminar.html

●まちと交通の未来づくりフォーラム 第 5 回フォーラム「自分たちでつくる、住み続けたいまち」

日時: 2025 年 11 月 30 日(日) 14:00～17:30

場所: 彦根勤労福祉会館 4 階 大ホール

主催: 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀(やさしい交通しが)

<https://yasashiikotsushiga.wixsite.com/machizukuri/about-4>

●第 31 回地域バス交通活性化セミナー「路線バス等の維持を目指した多様な分野からの運転者確保」

日時: 2025 年 12 月 8 日(月) 13:30～16:00

場所: 札幌エルプラザ ホール

主催: 国土交通省北海道運輸局、エコモ財団

https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/31th_seminar.html

●地域循環共生圏セミナー2025 第 3 回交通×環境 地域交通課題から始まる住民主体の地域づくり

日時: 2026 年 1 月 14 日(水) 15:00～17:00

場所: オンライン会議形式

主催: 環境省

https://www.env.go.jp/press/press_01421.html

3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<https://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp(担当: 中道)

=====

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>